

きのくに自主防災

<発行元>

第25号 (令和元年12月号)

和歌山県自主防災組織情報連絡会事務局 (和歌山県庁防災企画課内)

「和歌山県防災ナビ」アプリに新機能が追加されました！

和歌山県では、南海トラフ地震などの大規模災害時の的確な避難を促進するため、防災ポータルアプリ「和歌山県防災ナビ」を平成30年5月から配信しています。

アプリには従来より、「避難トレーニング」「避難先検索」「防災情報のプッシュ通知」「家族等が避難した場所の確認」といった主な機能があります。

今回は、今年追加された新機能について紹介します。

これを機に、ぜひダウンロードしてください。



R1. 6~

県内の河川水位情報や土砂災害の危険度が確認できるようになりました。

メニュー画面から

【河川水位情報】を選択すると
現在地や自宅付近の河川水位、
河川監視カメラ情報を表示



【土砂災害危険度情報】を選択すると
現在地や自宅付近の土砂災害の危険度を
表示



R1. 10~

大規模災害時における医療機関の診療情報などが確認できるようになりました。

メニュー画面から「医療機関診療情報」を選択すると、大規模災害時にのみ「災害時の案内はこちら」のバナーが表示され、医療機関の診療情報などが確認できます。

無料でご利用いただけます。

(アプリのダウンロード・ご利用にかかる
通信料は利用者のご負担となります。)



iOS9以降



Android4.4 以降



QRコード

<お問い合わせ先>

河川水位情報について…河川課(073-441-3074)

土砂災害危険度情報について

…砂防課(073-441-3171)

医療機関診療情報について…医務課(073-441-2604)

防災ナビ全般について…防災企画課(073-441-2284)

令和元年度「自主防災組織の活動の日」の報告です！

災害発生時には、自主防災組織による「共助」が災害から命を守る重要な役割を果たします。

県では、自主防災組織による「共助」の活動を促進するため、平成28年度から毎年6月1日を「自主防災組織の活動の日」、活動日の前後1週間（5月26日～6月8日）を集中活動期間と決めました。

今年度は、22市町131団体（うち集中活動期間中は9市町11団体）が活動を行いました！

6月9日（日）には、那智勝浦町 市野々区・井関区・八反田区で、合同避難訓練が実施されました。

併せて避難所運営訓練も行われ、訓練後には AED 講習など学習会も開かれました。



避難所に避難



避難者の受付
(避難所運営)

皆さんも、一人ひとりが「自分たちの地域は自分で守る」という意識を持ち、そして、地域住民みんなで協力・連携して、防災活動を行いましょ！

また、自主防災組織を結成していない近隣地域の方々には、皆さんからのお声かけをお願いします。

●活動例

防災学習

家具固定の
講習会

AED 講習

「出張！減災教室」
講座

共助を中心
とした訓練

避難訓練

炊き出し訓練

避難所の開設
・運営訓練



訓練、研修等のお問い合わせは、お住まいの市町村防災担当課室へ！

県内自主防災組織等の活動を紹介します！

印南町真妻地域にて孤立集落情報連携・物資輸送訓練が行われました！

令和元年9月1日（日）に印南町真妻地域の自主防災会において、大規模地震発生によって主要道路が寸断され孤立集落が発生したという想定のもとで、通信訓練、ドローンによる物資輸送訓練が行われました。

地震発生時のサイレンと同時に、消防団は避難誘導や被害箇所を確認を行い、住民は避難場所となっている集会所などへ避難しました。また町が切目川ダムに設置した現地対策本部に、衛星携帯電話を用いて被害情報などを報告しました。

避難後は、地図を用いて避難経路上の危険箇所の確認や、地域内における災害時要支援者となる方の把握、情報共有を行いました。その後、現地対策本部への救援要請を行い、ドローンによりAED、防災無線、飲料水などの物資を受け取りました。

訓練の終了後には、町が保管する備蓄食糧を用いた炊出し訓練や、日高広域消防の指導によるAEDを用いた救急救命講習を受けました。

これらを参考に、ぜひ皆さんもご自分の地域で活動を行ってみてください！



現地対策本部



情報連携を行う自主防災会



物資輸送を行うドローン

◆ 「防災わかやま」ツイッター

災害時に市町村が発令する避難勧告や、土砂災害警戒情報などの情報をお知らせします。

甚大な被害が発生するような災害が予想される場合の注意喚起や、新たな防災に関する取組も発信します。

ぜひフォローしてください。

「防災わかやま」
@bousaiwakayama



QRコード

〈お問い合わせ先〉
災害対策課(073-441-2261)

◆ 防災わかやまメール配信サービス

県内の気象情報や地震・津波の警報・注意報など、さまざまな情報をパソコン、携帯電話などに電子メールでお知らせします。

ぜひご登録ください。



防災わかやまメール配信
サービス登録用QRコード

regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp

上記アドレスに空メールを送信してください。



皆さんの地域でも
ブロック塀の安全対策をしましょう！

○地域に危険なブロック塀はありませんか？
基準に適合していないブロック塀は、倒壊により
人的被害や避難路の寸断が発生するおそれがあり、
大変危険です！
家庭や地域での安全対策をお願いします。



熊本地震で倒壊したブロック塀

○点検の際には、下記チェックリストを参考にしてください。

一つでも該当する箇所があれば、基準に適合しない可能性があります。

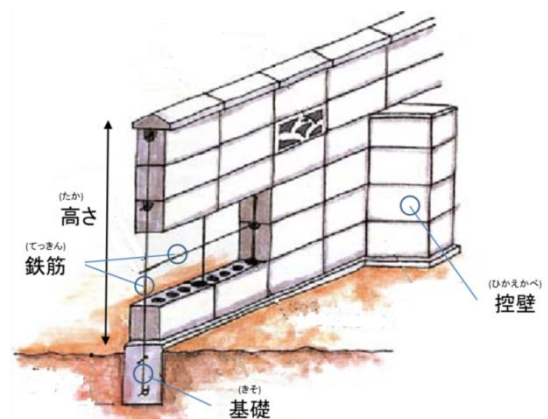
○基準に適合していない場合は、撤去や補強などを行ってください！

基準に適合しているか分からない場合は、県建築住宅課、各振興局建設部（和歌山市にお住まいの方は和歌山市建築指導課）、建築士関係団体などに相談してください。

○地域から危険なブロック塀をなくし、災害に強い地域をつくりましょう！

項目	点検内容	チェック 該当は○
1 高さ	塀が2.2メートルよりも高い (道路からの高さを確認してください)	
(ひかえかべ) 2 控壁	塀の高さが1.2mを超えているが、 控壁がない 若しくは 間隔が3.4メートルを超えている	
(きそ) 3 基礎	コンクリートの基礎がない 若しくは 確認できない (ブロックは基礎ではありません)	
(てっせん) 4 鉄筋	タテ、ヨコ80cm以内の間隔で鉄筋が 入っていない 若しくは 入っているかわからない	
(ろうきゆうか) 5 老朽化	傾き、ひび割れ、欠けがある	

参考:コンクリートブロックは一つあたりタテ20cm、ヨコ40cmが一般的な大きさです



出典:一般社団法人全国建築コンクリートブロック工業会HP

お住まいの市町村によっては、ブロック塀の改修等に関する補助制度を設けている場合があります。詳しくはお住まいの市町村役場にお問い合わせください。

「きのくに自主防災」に掲載する防災活動事例を募集しています

「きのくに自主防災」では、地域で防災活動に取り組まれている方々の活動事例を募集しています。自主防災組織の訓練、普段の活動の取組や、学校と連携した防災活動など特色ある活動事例をご紹介いただける場合は、ご連絡をお願いします。

※紙面の都合によりご紹介いただいたものすべてを掲載できない場合もございますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】 和歌山県総務部危機管理局防災企画課 TEL: 073-441-2271 FAX: 073-422-7652